

～にっぽんの山と都会～

課題

人口減少・高齢化・生活不便・医療や教育環境低下・林業衰退・大雨の土砂災害増大

山から木を伐り出し、加工し使います。端材も合板やペレットや燃料にして無駄なく使います。一方、都会で、木を使う空間を増やします。オフィスビルやマンションなどに使う柱や梁の構造材に気を使い、新しい木材市場（材・質・価格）を創ります。山と都会で、木材循環を創るとともに、山の建築ストックを活用した宿泊施設などの整備、地方創生につながる「森林ランドサイクル」を生み出したいと考えています。



持っている技術や強み

- モエンウッド
- 歴史的建物の保全再生技術
- 宿泊施設の事業実績
- 宮大工から始まった 400 年の歴史
- 大工道具館

私達が社会のために取り組めること

- 都会の建築やインフラを木質化していくこと（仕上げ材や構造材も）
- 歴史的価値のある建築ストックを再評価し、活用を推進すること
- 宮大工から始まりで大工道具館を整備した当社グループが、木を扱う大工職人の技を守り、育み「大工」のブランディングをしていくこと
- 建物を大事に使っていく「リノベーション」や「DIY」の文化を大切にし、支えること
- 木場や新木場の地元に本社を構える建設会社として、木の文化を育み、発信していくこと